

ベトナム大手 IT 企業による記念植樹
～根羽村桃源郷プロジェクト～
が行われました

9月13、14日の2日間に渡り、ベトナムのIT企業FPT ジャパンホールディングス株式会社による記念植樹が村内で開催されました。根羽村では、森林環境整備活動の一環として森林環境譲与税の活用を大手旅行会社に協力依頼していたところ、CSR活動の紹介があり今回の開催に至りました。

森林環境譲与税を財源の一部に活用し植樹現場を整備し、その場所にFPT ジャパンホールディングス社が記念植樹を行いました。9月13日は同社の創業20周年の記念日ということもあり、代表取締役グエン・ヴェット・ヴォン社長をはじめとする社員37名が、沖縄、神戸など全国各地から参加しました。FPT ジャパンホールディングス社はベトナム本国の大手IT企業FPT ソフトウェア社のグループ会社です。

13日に根羽村福祉センターで開催された植樹記念式典には、大久保村長をはじめ村会議員も出席し式を祝い、大久保村長からグエン・ヴェット・ヴォン社長に根羽杉で作られた感謝状が贈られると、グエン・ヴェット・ヴォン社長から大久保村長にベトナムの工芸品が授与され握手を交わしました。

「根羽村桃源郷プロジェクト」と題したこの活動は、森林組合を中心に、農泊推進チームも参加、郷土料理の提供や村の案内などのおもてなしを行いました。

村では森林環境譲与税の一部を活用し、植樹の費用はFPT ジャパンホールディングス社がCSR活動として負担するというもので、複数候補地の中から根羽村が採択されました。

大久保村長は、「森林環境譲与税を使い、企業CSR活動と連携することで、今回は海外企業と友好関係が築け、海外との関係人口拡大に寄与できたことは大きな成果であった。今後、森林環境譲与税は森林整備だけでなく、このような活動にも活用して行きたい。」と国内だけでなく海外との関係性にも視野を広げたい考えです。